

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十五年四月度 入選句 (投稿総数千五百二十句・小中生投句数六百四十四句)

特選 選者 和田勝子

みつばちが田んぼの中でかくれんぼ 大垣市 吉岡杏紗(小三)

れんげ田を見て、詠まれたのでしょね。れんげの花を見ていたら、みつばちが飛んでいるが目に入ったでしょう。そのみつばちが花から花へとみつを求めて飛んでいるのを見られたのでしょね。みつばちが花の中へ入って行ったり出てきたりしている様子が、まるでかくれんぼをしているように思えたんですね。みつばちの行動をよく見て読まれている素直な句ですね。

さわやかなはるかぜそつとささやいた 大垣市 伊藤大稀(小三)

今年は、天候不順でうらかな春らしい日に恵まれませんでしたね。しかし、作者は散歩中なのでしょ。春風がさわやかに心地よく吹いた日に出会ったのでしょ。「気持ちいいね。」「何とも言えない日だね。」「等耳元でささやいてくれたのでしょ。」「とてもフアンタチックな何とも素敵な一瞬だったのでしょね。誰にも話せる感動・共感できる素敵な句ですね。

たらいぶねさくらを見ながら川くだり 大垣市 くわ原けいこ(小三)

大垣の春の風物詩、水門川での舟下りを体験されたんですね。
船頭さんが漕ぐ小舟に乗つての川下りではなく、「おあん物語り」にちなんでのたらい舟に乗つて、史跡を背景に風情ある花見を満喫された時の句なですね。地上でのお花見とは格別の味わい、桜を川面から見られるひと時の感動だったのでしょ。十七音では表現できない感動、情景をまとめた素敵な句ですね。

秀逸

春ふぶきうれしきかなしき風にのせ 大垣市 箕浦颯希(小四)

みつばちが花のまわりでダンスする 大垣市 三輪彩乃(小四)

つばめのこるすばんひとりでだいじょうぶ 大垣市 大倉優舞(小四)

たんぽぽのわた毛がふわり大空へ 大垣市 田中夕貴(小六)

たんぽぽはわたげになってたびにでる 大垣市 西脇凜華(小六)

うぐいすがつばめにまじり会話する 大垣市 布袋倭(小三)

こいのぼり風のいうままむきかえる 大垣市 増井陽向(小四)

さくらもちぶにゆぷにゆしてほっぺみたい 大垣市 加藤望愛(小三)

葉ざくらもたらいにゆられ川下り 大垣市 大橋佑香(小三)

ランドセルでかいな重いな一年生 大垣市 工藤麻衣(小六)

入選

せまいみちいちれつならんでつくしさん	大垣市	澁谷小晴(小四)
水面にうつるさくらもまんかいだ	大垣市	藤井港司(小四)
たんぽぽはわたげになってそらにとぶ	大垣市	長瀬冬雪(小四)
鳥たちが春とさわいでお祭りだ	大垣市	田口礼華(小四)
すづくりで大仕事するつばめたち	大垣市	近藤勇之介(小四)
わたげたち空にとんで旅にゆく	大垣市	川瀬英理香(小四)
によきによきと土をおしのけつくしの子	大垣市	浜崎莉緒(小六)
大空に小さなじとしやぼん玉	大垣市	渡辺妃菜(小六)
菜の花が堤防一面春にする	大垣市	安田篤司(小六)
チューリップ色とりどりにさきほこる	大垣市	白木那知(小六)

入選

さくらさく川のほとりのむすびの地	大垣市	えんどう光(小五)
さくら散る流れる川では満開に	大垣市	山田優衣(小六)
春がきたむしさんむくむくめをさます	大垣市	赤尾侑暉(小三)
春一番たんぽぽとんで旅をする	大垣市	和田有平(中二)
春の土どこをほってもミミズくん	大垣市	伊藤瑛里(中二)
しやぼん玉ひとつひとつが大空へ	安八郡神戸町	森巧充(小四)
花ふぶき風といっしょにはしってる	大垣市	あさ野さとみ(小三)
たんぽぽがわたげになってとんでいく	大垣市	吉田歩尚(小三)
れんげそう田んぼいちめんうめつくす	大垣市	おく田かん太ろう(小三)
こいのぼり家族みんなでぶうらぶら	大垣市	坂尾真弦(小三)

選者吟

船頭の笠がふれゆく川柳

勝子